

広島もとまち水族館との連携について

富澤まり・竹本香織・西内良

新規に開業した水族館との連携について報告する。

「生きもの」を展示する広島市内の施設として、お互いに集客や展示の充実の面でメリットがあり相乗効果が期待できることから、(公財)広島市みどり生きもの協会と株式会社アクアメント(広島もとまち水族館の運営会社)とは、令和7年9月25日に相互の発展及び社会貢献に資することを目的とする連携協定(施設連携に関する協定書)を締結した。

この協定に基づき、広島もとまち水族館(令和7年10月31日オープン、広島市中区)内に当協会ブースを設け、動物公園、植物公園、こんちゅう館の3園館の魅力パネルや実物で紹介した(写真1)。

当園のスペースでは、紹介パネルのほか、水槽内でベゴニアやスイレンなど熱帯植物を育てて楽しむ方法をテラリウムで紹介した(写真2)。

①熱帯の水辺(大温室・スイレン温室の植物)
650×360×300mmのフレーム水槽を利用し、熱帯性スイレンなどを植栽した(写真3)。

②熱帯のジャングル(大温室・ベゴニア温室の植物)
300×300×300mmの水槽には、ベゴニアなど(写真4左)を、250×150×150mmの水槽にはシンゴニウムやネオレゲリアなど(写真4右)を植栽した。必要に応じ、職員が水族館に行き、管理を行っている。

また、令和7年度末までの期間、広島もとまち水族館と当協会が管理する3園館との間で、互いの入園券、入場券や年間パスポート等の提示により、各施設入園料(入場料)が割引になる相互割引サービス「生きもの巡り割」を実施した。

引き続き、展示・教育、研究活動、催事などの各分野で協力を図り、相互の発展ならびに社会貢献に寄与していくこととする。



写真1 協会ブース(水族館内フォレストエリア)



写真2 植物公園紹介コーナー



写真3 ①熱帯の水辺(大温室・スイレン温室の植物)
水槽(650×360×300mm):熱帯性スイレンなど



写真4 ②熱帯のジャングル(大温室・ベゴニア温室の植物)
左 水槽(300×300×300mm):ベゴニアなど
右 水槽(250×150×150mm):ネオレゲリアなど